

のみSDGsパートナー活動状況報告書

能美市長 宛て

所在地	能美市浜町ヌ167番地
企業・団体・個人名	小松マテーレ株式会社

1. 活動内容及び効果

※活動の様子が分かる写真があれば添付する。

(活動内容)

SDGsアイコン

工場の熱処理装置に、排熱回収を行う設備を導入した。	
排水処理設備を、最新式の設備に更新した。	 
2030年度までの環境目標を見直し、公表した。	    
古い工場建物を炭素繊維（カボコーマ）で補強する工法の第三者認証取得に向けて審査を受けている。	   
バイオ製剤の販売を前年の4倍にすることで、排水処理の廃棄物を削減できた。	  
2026年度までの中期経営計画を発表し、基盤強化として『人材育成の強化とエンゲージメントの向上』『製造環境の整備、福利厚生面の充実』を掲げ、推進した。	  
能美市内の障がい者就労支援施設事業所（株式会社CACL）と協働し、当社内に「CACL ジョブスクエア in 小松マテーレ」をプレオープンさせた（本格オープンは4月）。清掃業務を事務所に委託することで、障がいのある方に企業で働く機会を提供している。	  
製造過程でやむを得ず出る端材を活用して、ハギレとしてファクトリーショップ「mono-bo」で販売している。また、買い物袋の素材としても活用している。	 
廃棄される生地を活用した商品企画に取り組んでいる。	 
製造ロスの少ない環境に優しい製品染の商品ラインナップを拡充している。	  

(効果)

- ・工場の熱処理装置の排熱回収を行うことで、CO₂排出量を140t/年 削減した。
- ・排水処理設備を最新式の設備に更新することで、CO₂排出量を900t/年 削減し、かつ浄化性能をUPした。
- ・バイオ製剤の販売量を増やしたことで、お客様の廃棄物と処理費用を昨年対比4倍削減できた。
- ・本社棟、食堂および工場現場の事務所を改装することで、社員のエンゲージメントが高まった。
- ・企業と福祉がつながり、それぞれの強みを生かし、これまで企業等の雇用に結びつかなかった障がいのある方の「企業で働きたい」という想いをスモールステップで叶えていく仕組みづくりができた。
- ・地域住民の皆さまにもファクトリーショップが浸透しつつあり、手芸愛好家のお客様にはハギレを定期的にお買い求めいただいている。

2. 今後の活動予定

SDGsアイコン

社員を人的資本とし、働きがいのあり、かつ経済成長につながる人材育成プログラムを構築・スタートする。	
カボコーマでの耐震補強工法の「公的認証」を進める。	
古い工場建物を新たにカボコーマによって耐震補強することで、長く大切に使う。	
老朽化した電力柱を炭素繊維で補強することで大切に長く使う。	
再生エネルギー100%で、かつ防災拠点にもなる物流倉庫を建設する。	
海岸清掃をはじめとした地域貢献活動を継続して行う。	
「CACLジョブスクエア in 小松マテーレ」の活動を継続しながら、障がいの有無に関わらず、誰もが自分のスキルを活かして働ける職場環境づくりを行う。	
お客様が環境を配慮できるようなワークショップの開催を企画中。	

活動の様子 ※活動の様子がわかる写真があれば添付する。



就労継続支援B型CACLジョブスクエア in 小松マテーレでの業務の様子